



# インディアナの空

Indiana Japanese Language School

## 学校通信

### NO.26

【教育目標】 自ら学び正しく判断して行動する国際性豊かな児童生徒の育成を  
一人一人が輝く子どもの姿を求めて

#### ☆9月の目標

- ☆学習をがんばろう
- ☆みんなと  
なかよくしよう
- ☆笑顔で  
あいさつしよう

#### ☆配布物のお知らせ

- 1 学校便り

#### ☆今後の行事計画

- ・9月23日 運動会



#### ☆運動会に向けてのお願い

来週二十三日は、本校最大行事である運動会です。本校の運動会は国内と大きく違い、集団行動や行進、競技種目等など、ほとんど練習なしのぶっつけ本番です。その中で児童生徒は一生懸命頑張りますので、温かい声援をよろしくお願ひします。これまで 運営委員会 保護者会と学校の三者が一体となった準備を進めてきていますので、どうぞ児童生徒たちに応援の程よろしくお願ひします。順延の場合のみ、前日の一六時頃判断し、連絡します。(順延の時、普通授業)

【駐車場について】・・・誘導員(安全パト)の係の指示に従って、できるだけ奥の方から順々に駐車をお願いします。

【対策について】・・・フェンスに wasp trap(円形プラスチック容器にジュースが入っている物)を取り付けますので、小さいお子様には、触らせないようにご注意ください。予防のため、ジュースやソーダ類を持参しないで下さい。お子様には、十分な水やお茶を持たせてください。

【喫酒・禁煙の厳守】・・・マナーです。写真撮影のマナー・・・ゴール付近の応援や写真撮影など進行の妨げにならないようご協力ください。

【保護者の参加種目】・・・綱引き、ムカデ競走に積極的に参加してください。



#### ☆四年一組「ねこあつめのしるさばさん」とごめられる」

石川 なつき

この本を選んだ理由は、わたしはねこあつめというスマホアプリがすきだからです。この話は、しろさばさんというビビリのねこが、部屋にとじこめられてこわい出来事を体験する話です。一番心に残った場面は、おそうじロボのルンバがねこのしろさばさんに近づいて行く場面です。

理由は、ルンバは、がんばってごみをすっているだけなのに、ねこのしろさばさんにとっては、追いかけてられているように思えてしまったからです。すきな場面は、ねこになり、こんなにビビリのままではだめだと思い、ルンバに戦いをもとめた行動がすきになりました。自分にていていると思ったりは、せいこくです。

わたしは小さいころから、わたしは小さいころから、ビビリなせいこくなので、にているな、と思いました。この本を読んでわたしは、ねこずきになりました。私はこの本がだいすきです。



#### ☆四年一組「えんとつ町のプペリ」

ホーバス モナ

この本を読んだきっかけは、友達にすすめられたからです。この物語は、プペリとルビッチの友じょうの話です。プペルがごみ人間だから、小さくていじめられたけど、ルビッチが友達になり、やさしいなと思ひました。ルビッチは、プペルと友達だといじめられるから、もうプペルとは遊ばないと言ったとき、プペルがかわいそうだと思ひました。ルビッチがなくなりました。ルビッチをプペルがいないしよです。結局、プペルの頭の中にネットワークがありました。



☆六年一組

「平和のとりでを築く」を読んで

近藤 和暉

ぼくはこの文章を読んで共感したことは、戦争のひどさをこの建物で伝えたことです。もしぼくが当時の権力者だったら、きつとおしまずに寄金をするでしょう。戦争で亡くなった少女が、この建物は後世に戦争のおそろしさを伝えていまずと言ったら、なおさらです。ぼくは戦争を体験していませんが、このままの平和な世界を守りたいという思いは同じです。疑問を感じたことは、原爆ドームを世界遺産にする運動が4年もかかったことです。こんなに戦争の傷あとを残している建物は他にないので、もっと速く世界遺産に登録されてもよかったです。

ぼくがもっと知りたいと思ったことは、戦争についてのことです。もっと学んで、何があっても二度と戦争をしない世の中をつくることに協力できるかもしれないからです。ぼくが考えたことは、平和についてのことです。原爆が、このような建物が二度とできないように、もしものことがあったら言葉で解決できる時代を守る手助けを、みんなができるようになれたらいいと考えています。ぼくの夢は翻訳者になることですが、ぼくが言葉で平和の手助けをできたらいなと思えました。



☆六年一組

「平和のとりでを築く」を読んで

澤本 和奏

私は「平和のとりでを築く」を読んですごく共感したところは、ドームを取りこわさなかつたところだと思います。理由は、1945年に戦争がおきて原子爆弾で色々大変だったと思います。でももしこの建物がこわされたら、昔大変だったこともきつとみんな忘れられると思ったからです。

この文章を読み疑問を感じたところは、1960年に亡くなった少女の急性白血病の事です。原爆の放射線を浴びた少女が亡くなったと書いてありますが、人に見えないその放射線が、どうして人が亡くなるほどの威力があるのか、読んでいく中でこの疑問を感じました。もっと知りたいと思ったところは、原子爆弾のことです。この爆弾は、ドームが少しこわされて人もたくさん亡くなったと書いてあります。この中で私は、誰が原子爆弾を作ったのか、どのくらいの威力なのか。そしてどうして落とされたのか、もっと知りたいなと思いました。

私にとつての平和は、戦争や争いの無い社会の事だと思えます。「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。」と本文に書いてあるところがすごく心に残りました。戦争がおこるのは、人間の心の問題だと思えます。心の中が貧しいと、こういった戦争がおこってしまうのだと思います。

☆四年一組

「犬と私の10の約束」

ラフランテ エヴァア明



私が、この本を選んだ理由は、この本の内容が感動的だったからです。このお話は、みもとという女の子とゴールデンレトリバーのバナラのお話です。私がこの本を読んで一番心に残った場面は、一六〇ページの「バナラありがとう。あなたのことは、いつまでもいつまでもわすれない。」です。なぜかというところ、かんしゃの気持ちもこの本を読んでいるからです。私がこの本を讀んで、命をかわったことは、命をもっと大切にしようと思ふ気持ちです。ぜひ読んで下さい。

☆四年一組

写真日記

岡野 祐翔

七月二十九日に、ぼくはエバンズビルのはくぶつかんへ行きました。最初は、プラネタリウムでえいが見ました。はやい動きがあり、ぼくは目がまわりました。えいがのあと、エバンズビルのれきしがあるへやへ行きました。

むかしのはいしやさんのへやがありました。むかしのはいしやのしごとをそうぞうして、すこしこわくなりました。びじゅつかんもあつたので絵を見ました。絵はすごかったです。となりにでん車のはくぶつかんがありました。

でん車にのれて楽しかったです。エバンズビルのはくぶつかんは、楽しかったのでまた、きかいたがれば行きたいです。



Evansville

